



# TOKYO SHIBUYA LOVERS PHOTOGRAPHERS



meets

4-28.Sep.2014

AKAMATSU



- ① 所幸則 スクランブル交差点を走る少女 (2013)
- ② 小島康敬 109→センター街 (2009)
- ③ 澄毅 スクランブル交差点 01 (2014)

Y.TOKORO

①

Y.KOJIMA

②

T.SUMI ③

Y.FUSE ④

⑤ N.YABU

⑥ A.WATANABE

- ④ 布施有輝 Shibuya.109 (2013)
- ⑤ 蔡乃理子 shibuya x self-portrait (2014)
- ⑥ 渡部暁 渋谷川 / 東横線 (2012)

TOKYO Shibuya lovers photographers meets Takamatsu

写真表現による多様性とは?  
2014年9月4日(木)~9月28日(日)

[開館時間] 午前9時~午後5時 (入館は午後4時半まで) [休館日] 月曜日  
(ただし、9月15日開館、16日休館)

[入館料] 一般 300円、大学生 150円 (常設展観覧料含む / 団体は20名以上2割引)  
高校生以下、65歳以上の方(長寿手帳等が必要)、障害者手帳等の所持者は無料

同一テーマによる可能性の実験

高松市塩江美術館

[主催] 高松市塩江美術館

[協賛] コスモスインターナショナル  
大型プリント用紙(ピクトランバライタロールペーパー)提供  
有限会社藤田木工所

# 「写真表現による多様性とは？」

—同一テーマによる可能性の実験—

渋谷の街を撮り続けて来た鬼才、高松出身の写真家・所幸則を中心とした東京と渋谷を愛し記録し続ける集団【TOKYO SHIBUYA LOVERS PHOTOGRAPHERS】。

2012年に結成し、渋谷を中心に展示を開催。

今回が東京以外での初めての展示となります。

アート県と謳われるこの地香川では、「フォト・ラボK」という写真でファインアートを取り組む人材の育成プログラムをはじめ、K-LOVERS PHOTOGRAPHERSというチームが編成されています。

香川のメンバーも含めて、香川のみなさまに、同じモチーフでも表現にはこれだけの多様性があるんだという事を体感していただければと願い、この展示を開催します。

なお会期終盤には所幸則と参加作家が【高松】で新たに撮り下ろした作品を、一部展示替えをして発表いたします。

## ワークショップ

9月6日(土)11:00～

作品を「鑑賞」するのに留まらず、出品作家とともに作品制作を「共有」するためにワークショップを行います。それぞれの作家の考え方や視点、制作の過程を現場で体験することで、展示されている作品への一步踏み込んだ理解や、自分自身の撮る写真に対する新しいヒントを見出すことができる機会です。

## アーティストトーク

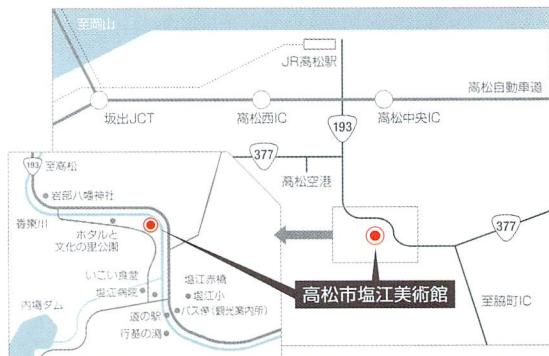
9月5日(金) / 6日(土) / 7日(日)  
27日(土) / 28日(日)  
7日のみ 11:00～ 他は 14:00～

作家達が各々自分の作品について語ります。

## 写真作品レビュー(講評)

9月6日(土)12:00～  
事前審査あり。美術館に申込みください。  
(写真画像3枚程度と簡単なプロフィールをお送りください)

持ち込まれた作品を講評します。



ACCESS バス：JR 高松駅から「ことでんバス塩江線」約60分  
塩江バスターミナル下車徒歩約15分

自動車：高松中央ICまたは高松西ICより約40分

飛行機：高松空港よりタクシーで約20分

## TOKYO SHIBUYA LOVERS PHOTOGRAPHERS

### アーティストステイトメント

渋谷を写真で表現するには、私所幸則が一人の目線で語るより、自分とは違うコンセプトをもち、多様な表現スタイルで渋谷を表現する作家が複数いるほうが面白いのではないか。

同じ対象を捉えようとする写真家達によって写されたより濃厚な渋谷を沢山の人にみせたい。なにより自分が見たいのかもしれません。

TOKYO SHIBUYA LOVERS PHOTOGRAPHERS。

これは、そんな思いから生まれた集団です。

### 小島康敬

KOJIMA Yasutaka

1977年、東京生まれ。2006年渡米。07年ICP卒業。11年度文化庁新進芸術家海外研修制度研修員。東京、NYで個展、グループ展に参加。15年よりベルリンのアーティストインレジデンス、ベタニエンにて1年間のレジデンスプログラムに参加予定。14年写真集「NEW YORK」出版。

### 澄毅

SUMI Takeshi

1981年、京都生まれ。写真に光を透す作品を中心に発表を行う。対象は祖父母の写真から、大学時代を過ごした東京、渋谷を舞台にした写真までを、作品の舞台としている。2013年よりパリに移住。現地のギャラリーやデパート(ポンマルシェ)で作品を発表している。12年写真集「空に泳ぐ」を出版。

### 藪乃理子

YABU Noriko

1981年、香川県生まれ。2004年早稲田大学第二文学部卒業。07年東京藝術大学大学院佐藤時啓研究室卒業。13年より日本、パリなどで個展、グループ展に参加。14年写真集「水葬」(SUISOU)を出版。

### 渡部暁

WATANABE Akira

1973年、福島県生まれ。90年代後半よりCM、映画、アニメーション等でVFXを手がける。映像ユニット「mood magic」所属。2002年頃より所幸則に師事し、渋谷を中心とした写真活動を開始。渋谷の街のミクロとマクロを切り抜いていく。

### 布施有輝

FUSE Yuki

1975年、静岡県生まれ。2002年頃より所幸則に師事し、渋谷を中心とした写真活動を開始。09年より夜の横断歩道を中心とした作品制作を始める。11年『東京画』プロジェクトに選考される。西麻布アムリタ、渋谷ヒカリエなど展示多数。

### 所幸則

TOKORO Yukinori

1961年、高松市生まれ。渋谷を拠点に活動し、90年代より00年代にかけ一世を風靡する広告写真を数多く残す。また2008年からは『渋谷1sec(セコンド)』シリーズによってファインアートフォトグラファーとしての地位を確立。現在、大阪芸術大学客員教授。

14年写真集「One second vol.1Shibuya」を出版。

続く個展(10月3日～10月29日)では、所幸則の『渋谷1セコンド前編』完結編と、写真集に収録されなかった名作約80点を展示予定。ご期待ください。

高松市塩江美術館

香川県高松市塩江町安原上 602

TEL 087-893-1800 FAX 087-893-1833